

伊予高校 図書館だより Library News

令和5年度
10月
文化祭 ①

文化祭の図書委員会の企画『新任の先生お勧めの本』を、図書館だよりでも御紹介します。文化祭では図書委員が制作した『本の紹介POP』も展示しました。



生き物たちよ、なんでそうなった！？
五十嵐杏南 著
笠間書院

渡部 教頭先生 (理科)

現在、地球上には約870万種(国連環境計画2011年8月)の生き物がおり、それぞれの生活を営んでいます。それらの生き物の中には、「んっ？」と一瞬思ってしまうような姿・形、生活様式のものがあります。この本は、それらの生き物たちが生き残るためにたどった進化について「進化生態学」の立場から分かりやすく解説しており、文系の人たちにも親しみやすい一冊です。



漫画 君たちはどう生きるか
吉野源三郎 原作 羽賀翔一 漫画
マガジンハウス

大内 教頭先生 (芸術)

この夏に公開された宮崎駿監督の最新ジブリ作品に、同じタイトルの映画がありますね。私は本校の3期生です。私が伊予高校に入学する前の春休みに、宿題として出されたのが、この本の(小説版の方です。)感想文を書いてくることでした。当時、難しい内容だなあと感じながら課題を仕上げましたが、将来の自分の目標や目的を定めるための道しるべになっていたんだなど、この歳になった今でもそれを感じます。原作の小説でも漫画でもよいので、ぜひ一度読んでみてください。ジブリ映画の方も、早速この夏、楽しませてもらいました！



にげてさがして
ヨシタケシンスケ 著
赤ちゃん和妈妈社

河野 先生 (国語)

「ひとは…うごくかどうかをじぶんできめることができる…じぶんをかえるために、うごいてもいいし、じぶんをかえないために、うごいてもいい」「頑張りすぎなくていいよ」などと面と向かって言うのは照れ臭いから、とりあえずこの本を長女にプレゼントした。娘は、カバンに入れていつも持ち歩いてくれている。なんとなく伝わったのかな、と嬉しくなった。誰かにプレゼントしたくなる、そんな本である。



王家の話
弥嶋よつば 著
KADOKAWA

宮内 先生 (地歴・公民)

「歴史って暗記ばかりで面白くないな…」と思っているそこのあなた！教科書には載らない分野から歴史に触れてみませんか？この本は、歴史上の王家にツッコミまくっています。強大な権力をもっていたハプスブルグ家、この一族はあごがしゃくれている人が多くいます。誰からしゃくられ始めたのか、あごの先にはどんな未来が待っていたのか。他にも誰もが一度は耳にしたことがある歴史上の人物についてもエピソードがいろいろ登場します。気になる人はぜひ読んでみてください。



世界が面白くなる！身の回りの数学
佐々木淳 著
あさ出版

末光 先生 (数学)

私たちの生活の中で算数・数学がどのように活用されているかを紹介している本です。具体的には、小学校の算数で習った「分数の割り算はなぜひっくり返して掛けるのか？」から、近年注目されている「AIやデータサイエンスに数学が活用されていること」まで幅広い話題があります。数式は少なく、図や表などを用いて説明されているので、数学の専門知識がなくても分かりやすく学べる内容になっています。



1日1話自分を強くする成功の教科書365
児玉圭司 著
飛鳥新社

岩部 先生 (数学)

人生で成功した著者が、多くの出会いや良書からの学びをまとめた本(だと思われる)です。その内容は、①全部で365項目からなる。②1~2分で読み切れるので、毎朝1ページ読んで、毎日ポジティブになれる。③『Sports』『Life』『Business』の分野がある。④著者の少年時代は不良だったが、世界卓球大会で日本代表選手→監督→連盟会長→起業し成功、以上です。この本は365日かけ完読したいと思っています。